

二学期開始から1週間

9月1日からまるまる一週間が経過しました。久しぶりの学校や授業、生活のリズムには慣れてきましたか。学習面でも、予習、復習、課題への取り組みといった日常の家庭学習のペースを、少しずつ取り戻しましょう。

1、2年の1学期の進路活動は、大学調べや大学見学といった情報収集と、自己分析が中心でした。その後、夏休みを経て、自分のやりたいこと、探究したいことが具体的に見えてきたという人もいるでしょう。二学期は、第一志望校や志望校群の決定、次年度の科目選択などが大きな流れになります。

3年生は、9月に共通テストの出願があります。実際に出願する大学は決まりましたか。併願校を含め、入試科目や配点を再確認し、今後の受験スケジュールを逆算していきましょう。また、7月模試の結果も返却されたと思います。判定の段階ではなく、得意や苦手はどこにあったのか、夏の勉強でその苦手は克服できたのかなど、次に繋がる分析をしていきましょう。

学校での自学自習で実力を伸ばそう

北園高校では、木曜日を除く平日は、19時まで図書室を自習場所として利用できます。1学期にも、学年問わず多くの人が自主的に学習に取り組む姿を見ることができました。

二学期からは、自主学习支援のための支援員の先生をお招きすることになりました。支援員の方は、それぞれ数学や英語の質問にも対応してまいります。自主学习の質を高めるために、気兼ねなく質問してください。

今回は、月水金の17時～19時にお越しいただく高田紀子さんに自己紹介文をいただきましたので、ご紹介します。

小さい頃から教員になるのが夢でした。大学卒業後、実際には全く畑違いの職に就き、同時に家庭に入ってからもずっと計16年間ほど家庭教師を続けていました。

初めて教壇に立ったのは、38歳のとき。以来、中高一貫の私立女子高で非常勤講師。専任教諭として、65歳の定年退職まで勤務していました。

その後も、縁あって私立女子中学高等学校で73歳まで教壇に立ち、共に学ぶ楽しさを味わうことができたのは本当に幸せで恵まれていたと思っています。

その楽しさをまだもう少し味わえたら…と新たな夢を追いかけています。

後期高齢者になりましたが、年を取っても、まだ発展途上人として成長したいと、もう少し頑張ってみるつもりです。

数学が嫌いではないけれど、自信がない人。

数学が好きではないけれど、必要なので頑張りたい人。

→一緒に頑張りましょう。

数学が得意な人

→刺激を与えて下さいませ。（怖いですが）

どうぞお手柔らかに。よろしく願いいたします。

高田 紀子

図書室利用時には、みなさんから話しかけ、わからないことはすぐに解決していきましょう。

二枚目は、4月発行の進路 NEWS 第1号以来の、2、3人目の先輩の受験体験記です。ご覧ください。

受験体験記

ケース2 国立大学 一般入試（前期）

75期生 N.T.さん 進路：埼玉大学 教育学部 養護教諭養成課程

この大学を志望し始めたのは高校一年生の初めの頃でした。この学校を選んだ理由としては養護教諭になるという同じ目標を持った人がいる環境で四年間学べること、調べた時の教職採用試験の採用者数がよかったこと、自宅から通いやすかったことがあげられます。

三年間志望校を変えずこの大学を志望し続けました。私は一年生の頃から受験で使わないと思っていても何をやっていいのかわからなかったので定期テストはしっかり取り組んでいました。本格的に受験勉強を始めるころには、一、二年で勉強したことなんて忘れてしまっていたのですが、**勉強習慣や教科の勉強計画を立てて実行してきたことは、受験勉強をスムーズに進める上で役にたちました。**塾も週に一回行ってはいたものの、勉強はずっと学校を中心に進め、三年生になってからは放課後友達と残って勉強するようになりました。**友達の頑張っている姿に刺激されて自分も頑張ることができた**と思います。

冬休みに入ってから時間も惜しんで勉強し、あとは共通テスト本番でベストを出し切るだけでしたが、出しきれ

ずりサーチでは初めてのE判定を取ってしまいました。頑張ってきたのにと絶望しました。他の国公立は考えていなかったため、一度は国公立を受験すること自体を諦めようとしたけれど家族や塾の人に受けてみなよと背中を押され、自分自身も受けなかった後悔をしなくなかったので結局受験することにしました。

何度も何度も挫けそうになったけど、その度に、もう少し頑張ったらいい結果が出るかもしれない、ここができるようになればいい、**もうちょっとだけ、もうちょっとだけ頑張る**、というのを繰り返して乗り切りました。何もかもうまくいく受験生なんていないし、思い通りにならないことの方が圧倒的に多いと思います。私のように共通テストで思うような結果が出せなかったけど、最終的にはいい結果になるなんてこともあります。模試の判定が悪かったりして自分の目標を諦めそうになった時、E判定から合格を勝ち取った私の例を思い出してほしいです。私のこの経験が、皆さんの頑張る糧になればいいなと思っています。

〈おすすめの参考書〉

古文・漢文→ただよび (YouTube)、古文単語 315

数学→青チャート、わからない問題は YouTube で調べると大体解説動画出てくるのでよく調べていた。

Photo math (アプリ) …解説で途中式が省略されている時に活躍する。

英語→学校で配られる単語帳、スタサブの英文法、パラグラフリーディングのストラテジー

生物→生物の点数が面白いほどとれる本 (黄色いやつ)

理科基礎→一年生の時に使っていた問題集、先生が用意してくれていたプリント

受験体験記

ケース3 国立大学 一般入試（前期）

75期生 匿名希望 進路：東京医科歯科大学 医学部保健衛生学科看護学専攻

将来資格職に就きたかったので、色々迷った結果看護師になろうと決めました。どうせだったら上を目指そうと思ってとりあえず医科歯科大学を目指しましたが、3年生になって目標射程圏内に入っていたので本格的に第一志望にしました。受験勉強は、**自分の状態を正確に判断する事が重要**だと思います。精神面で不安定になってしまった時も、紙に書き出したり誰かに話すために状況を整理したりすると、頭がスッキリしてやるべき事が見えてきます。も

ちろん勉強面でも、苦手教科と得意教科のバランスを取ったり、勉強と休憩の時間配分を考えたりする上で、自分を見つめることは大切だと思います。**やるべき事が見えてきたら一つ一つをクリアしていく事**で、最終的な合格が見えてくると思います。塾や学校、ネットで得た情報をそのままトレースするだけでなく、吟味して色々試してみてください。どこが正しいとかではなく、人によって合う合わないはそれぞれです。